

製品安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名）	リバーシシーラー
会社名	株式会社リバーシジャパン
住所	〒956-0816 新潟県新潟市秋葉区新津東町 1-1628-1
電話番号	0250-47-6071
FAX 番号	0250-24-0181

2. 危険有害性の要約

分類の名称	分類規定に該当しない
危険性	知見なし
有害性	知見なし
環境影響	知見なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物（液体）
構成成分	エチレン酢酸ビニル共重合体、水、（スクロース／K／Ca／Na）発酵液
化学名または構造式 （主構成成分）	$(C_2H_4)_m (C_4H_6O_2)_n$ 、 H_2O 、その他
化審法・安衛法番号	(6)-6（エチレン酢酸ビニル共重合体に関して）
CAS No.	24937-78-8（エチレン酢酸ビニル共重合体に関して）
国連分類及び国連番号	危険物に該当しない
PRTR 法	第一種エチレングリコール（エチレン酢酸ビニル共重合体に関して）
安衛法通知対象物質	エチレングリコール（エチレン酢酸ビニル共重合体に関して）
ホルムアルデヒド発生要因物質	ユリア樹脂・メラミン樹脂・フェノール樹脂・レゾルシノール樹脂およびホルムアルデヒド系防腐剤の何れも不使用

4. 応急措置

目に入った場合	清浄な水で最低 15 分以上洗眼した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。
皮膚に付いた場合	付着した衣類、靴を脱ぎ、付着した部分を水または微温湯を流しながら洗浄する。皮膚用洗剤を用いても良い。外観に変化や痛みなどが発生した場合には、医師の診断を受けること。
吸入した場合	蒸気、ガスなどを吸入して、気分が悪くなった場合には、直ちに新鮮な空気の場所に移動し、安静、保温に努め、速やかに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	意識がある場合、水でよく口の中を洗浄し、吐かせる。意識が無い場合、口から何も与えてはならない。また吐かせてもならない。意識の有無に関わらず、安静にして、直ちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

使用消火剤	水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂等
消火方法	本製品は引火しない。尚、製品乾燥物に着火した場合には以下の処置をとる。 <ul style="list-style-type: none"> ・可燃性の物を周囲から取り除く。 ・適切な保護具（耐熱着衣など）を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
環境に対する注意事項	河川などへ排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 地域の規則に従う。
回収方法	多量に漏出した場合は、土のう等で拡散を防止し、凝集・凝固材等で凝集措置をした後、回収する。少量の場合は、乾燥砂、土、ウエス等に吸収させて回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	換気の良い場所で取り扱う。 状況に応じ保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。 容器は使用都度密閉する。
保管	凍結、直射日光を避け、通風の良い屋内で保管する。 5℃以下または40℃以上にならないようにする。 容器内の空気をできる限り抜いておく。 鮮度保持の為、保管後速やかに使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理温度	設定されていない
許容温度	
エチルグリコール	日本産業衛生学会（98年度版）設定されていない ACGIH（99年度版）STEL100(mg/m ³)
設備対策	状況に応じ局所排気装置等を設置する
保護具	
呼吸用保護具	着用が望ましい
保護眼鏡	着用が望ましい
保護手袋	着用が望ましい
保護衣	着用が望ましい

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	
形状	液体
色	乳白色
臭い	わずかな有機物臭

物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲

沸点	約100℃
融点	約0℃
引火点	なし
発火点	なし
爆発特性（爆発限界）	下限 知見なし 上限 知見なし
蒸気圧	知見なし
蒸気密度	知見なし
密度	約1.0（20℃）
溶解性	水で無限大に希釈可能

10. 安定性及び反応性

引火点	なし
発火点	なし
酸化性	このもの自体は不燃性
発火性	なし
爆発特性（爆発限界）	下限 知見なし 上限 知見なし
自己反応性・爆発性	なし
粉塵爆発性	なし
安定性・反応性	なし
その他	通常の条件下では安定

11. 有害性情報

皮膚腐食性	皮膚に付着したままにすると、炎症を起こす場合がある。
刺激性（皮膚・眼）	事例は無いが、眼粘膜を刺激する。 蒸気吸入で頭痛などを引き起こす場合がある。
感作性	知見なし
急性毒性	知見なし
慢性毒性	知見なし
癌原性	知見なし
変異原性（エームス試験）	知見なし
生殖毒性	知見なし
催奇形性	知見なし

12. 環境影響情報

分解性	知見なし
蓄積性	知見なし
魚毒性	河川に流出した場合はエマルジョン中の樹脂の粘着による呼吸困難のため魚類が死亡する場合がある。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄物は焼却するか、産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。洗浄水等の廃水は凝集沈澱、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。この時水質汚濁防止法に注意する。廃棄物については廃棄物処理法や国、都道府県並びに地方の法規・条例に従う。

汚染容器・包装

空容器は内容物を完全に除去した後に処分する。

1 4. 輸送上の注意

国連分類

国連勧告の定義上、危険物に該当しない

国内規制

該当する規制はない

輸送の特定の安全対策及び条件

運搬に際しては容器の破損・漏洩がないことを確かめ、転倒・落下・破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

1 5. 適用法令

PRTR法

第一種指定化学物質 (エチレングリコール)

安衛法

57条の2 通知対象物質 (エチレングリコール)

1 6. その他の情報

引用文献等

- 1) 「化審法化学物質改訂第5版」、化学工業日報社 (2002)
 - 2) 「製品安全データシートの作成指針」、日本化学工業協会 (2001)
- 記載した内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、以上の情報は新しい知見により、改訂されることがあります。また、注意事項は通常の手配を対象とするものであって、特殊な取扱いの場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。本製品を使用するに当たって、提供された情報を適用するかどうかの最終的な決定は、使用者の責任で行ってください。全ての物質は、未知の危険性を呈する可能性があり、ここで示した危険性は起こり得る全ての危険性を網羅したものであるということを保証するものではありません。

注意